

普仙寺だより

<<

>>

第152号 平成20年1月



総代会役員、華頂婦人会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました
平成19年12月23日撮影

子年はいつから

平成20年は、干支では戊子(つちのえ・ね)に当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせる年を数えます。

十干は

甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)
・庚(かのえ)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)

十二支は

子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつじ)
・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)

といえます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から子年(ねどし)になるわけです。

そのため旧正月の日、つまり西暦2008年2月7日から子年です。

年末大掃除

平成19年12月23日に、華頂婦人会の役員の方と、総代会の方に、年末の大掃除をしていただきました。

境内や墓地をきれいにさせていただきました。



平成19年12月23日 総代会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました

800年前の法然上人

今から800年前、建永2年(西暦1208年)の1月、法然上人の周辺ではどのような事があつたのでしょうか。

法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、前年の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に行くこととなりました。

800年前の今月、おそらく法然上人は、勝尾寺に居られたと思われます。

浄土宗豊橋組 檀信徒の集い

日時

平成20年2月20日(水)
午後2時30分から午後4時30分まで

会場

豊橋駅前文化ホール
駅前大通開発ビル10階

内容

◇第一部

法然上人御忌法要

◇第二部 法話

長野教区法然寺 宮腰征彦師

[参加案内] 総本山知恩院高齢者招待祝賀会

期日

平成20年4月18日(金)

場所

京都 [総本山知恩院](#)

対象者

普仙寺檀信徒で80歳(昭和3年生まれ)を迎えられた方
または80歳以上で今までに参加されていない方。

日程

午後0時30分 受付
午後1時 法話
午後2時 祝賀会法要
午後3時30分 解散

接待

記念品が頂けます。
(但し、代理は認められません)

申込締切

2月15日までに所定の用紙に記入の上、普仙寺へお申し込み下さい。

費用

運賃は個人で負担して下さい。
(参考:新幹線京都往復運賃13,640円)

寺行事案内

土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

1月12日からは

- 前編第4章 出世本懐
- 前編第5章 選擇本願
- 前編第6章 五劫思惟
- 前編第7章 諸仏證誠

住職説教 (じゅうしよくせつきょう)

平成20年1月25日(金) 午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の正月25日の正午、大谷の禪房(現在の知恩院勢至堂の場所)にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

寒念仏 (かんねんぶつ)

平成20年2月2日(土) 午前7時30分～8時

暦でいう寒中の間のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といいます。
浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中(本年は1月6日から2月3日まで)

善光寺如来縁日 (ぜんこうじによらいえんにち)

平成20年2月8日(木) 午後6時30分より
本堂左脇壇にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

月並法要 (つきなみほうよう)

平成20年2月8日(水) 午後7時より
年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

御忌法要 (ぎよきほうよう)

平成20年2月25日(月) 午前11時～午後3時
◇法話 豊橋市 察順院 谷中信巖師
◇詠唱奉納
法然上人の忌日法要を御忌(ぎよき)と呼びます。
普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。